

## 医療施設における ESCO 事業導入について

杉山 利夫 (株)ミューテック 代表取締役

昨今、病院の経営環境が年々厳しさを増すなかで、一般企業と同様に経営改善に取り組むことが、病院の競争力をつけ、差別化戦略のために不可欠な要素であるとの認識がようやく浸透してきた事と思われます。

また、我国においては、地球温暖化防止対策として「京都議定書」が批准され、CO<sub>2</sub> 排出量を 1990 年比で▲6%削減する事を目標として、ビル・工場等（病院も含む）エネルギー消費量の多い事業所に対する省エネ対策の強化を進めることとなりました。

### 1. 導入理由

しかし、他業種に比べて、病院で最も立ち遅れているのが「省エネ」です。経営改善のために必要な資金確保のうえでも、省エネは最重要な課題です。ESCO 事業は、病院の初期投資負担を軽減し、効果的に省エネに取り組むための方法として注目され、病院への ESCO 事業導入も盛んになってきました。

ESCO 事業が病院に導入され始めた理由として、

- 病院のエネルギー消費原単位は各業界中最大である。
- 病院は、ホテル同様夜間のエネルギー消費量が大きい。
- 蒸気・給湯を多く使うため、熱の消費量が大きい。

など省エネルギーの余地が大きいことが考えられます。

更に、ESCO 事業の特長である、

- 光熱水費の削減分ですべての経費を賄う。
- ESCO 事業者がエネルギー削減効果を保証する。
- 「技術・設備・人材・資金」など包括的なサービスを提供する。

ことが考えられます。

### 2. 導入ステップ

病院等医療施設への ESCO 事業導入ステップは、資料等による調査・現地における簡易調査・エネルギー計測機器を使い、一定期間のデータ収集を行なう詳細調査などを行い、ESCO 事業全体の提案に至ります。

### 3. 提案

ESCO 事業の提案では、具体的に省エネルギー診断結果に基づき、下記の様な疑問にお答えします。

- 現状の問題点、省エネルギーの可能性、改修工事の概要・試算等
- 経済的メリット、省エネルギーの保証、資金調達方法 等

### 4. その他

更に、病院特有の「省エネ推進ポイント」を部門ごとに提案し、更新する設備機器と運用上の改善を合わせた「相乗効果」や、エネルギー管理等運用上の改善案についても提案します。